



<プログラム>

- I バロック名曲選より
 1 かなし 望みなき わが愛 モンテヴェルディ
 2 なげき うたえ イスラエル カリッシミ
 3 さかえ あれや キリストに シュツ
- II 混声合唱組曲 トパーズの旋律 より
 薩摩 忠 作詩
 斉藤高順 作曲
 伴奏 岡崎 由紀子
- 1 カーネーション
 2 水の花
 3 まつよいぐさ
 4 サルビア
 5 サフラン
- III なつかしい合唱曲
 伴奏 大沢 容子
- 1 野ばら ハートマン
 2 川辺にて ホヘミア民謡
 3 きけ駒鳥のうた ホーツ
 4 ビアたるポルカ ウラヂミール・チム
- IV 混声合唱組曲 筑後川
 丸山豊 作詩
 団伊玖磨 作曲
 伴奏 菅野 孝志
- 1 みなかみ
 2 ダムにて
 3 銀の魚
 4 川の祭
 5 河口

<団員名簿・出演者名簿>

| | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-------|-------------|-----|-----|-----|-----|
| 金晶堀 | 矢山川 | 妙房洋 | 子子子 | < Sop. I > | 山菊蛇 | 口池口 | 信みち | 世子子 |
| 中野 | 野村 | 美和子 | 子子子 | < Sop. II > | 中藤松 | 野井山 | 田明恵 | 鶴子子 |
| 郷右近 | 谷川野 | 静信師 | 子子子 | < Alt. I > | 藤玉佐 | 井山々 | 弘敬育 | 子子子 |
| 吉八重 | 田重木 | 淳富喜 | 子子子 | < Alt. II > | 佐川梁 | 々木村 | 由昌佳 | 子子子 |
| 福尾 | 田形 | 英清夫 | 子子子 | < Ten. I > | 矢菊 | 吹池 | 隆昭 | 志文 |
| 吉目佐 | 田時々 | 睦政壮 | 郎昭一 | < Ten. II > | 根阿菅 | 田部野 | 幸正孝 | 悦司志 |
| 石菊金 | 川池矢 | 章光久 | 稔夫紀五郎 | < Bas. I > | 及佐森 | 川藤 | 幸邦 | 一洗夫 |
| 内照越 | 藤井野 | 寛隆 | 二一修 | < Bas. II > | 牛加橋 | 越藤本 | 純 | 恂学一 |

<指揮者・ピアニスト・役員>

| | |
|---------|-------|
| 常任指揮者 | 千葉了道 |
| ピアノ | |
| 委員長 | 吉田久五郎 |
| 副委員長 | |
| 会計 | |
| パートリーダー | Sop. |
| | Alt. |
| | Ten. |
| | Bas. |

<主な活動> 昭和45年 1970年
 練習会場を岩手女子高校へ
 10/10(日) 岩手国体エキシビジョン参加

北声会合唱団

第 5 回

合 唱 演 奏 会

指揮 千葉了道

1970. 7. 17 (金) 開演 PM7:00

場 所 岩手教育会館ホール



ご あ い さ つ

指揮者 千葉了道

アマチュア合唱団の常任指揮者は、多様で複雑な任務をもっている、とある音楽雑誌に書いてありました。正にその通りで、楽譜のガリ切りからステージでの指揮まで、という事が別に問題なく行われています。

北声会合唱団は、私も一団員という気持ちで創設に参画したので、特に私には当然の事の様に思われるのでしょう。

「歌うことが好きだ」は合唱団を支えている最も大切な要素です。公開の演奏会など、不必要という団員もいます。然し音楽は、共感する多くの方々と語り合う、緊張や拍手の中で語り合う、というところに生き生きとしたよろこびがある様に思われます。アマチュア合唱団の場合は殊にそうなのではないでしょうか。

北声会合唱団が発足する時、私たちは北国らしい線の太い、たくましい合唱団になろう、と話していました。五年の年月が、そういう願いに近よれたかどうか甚だ疑問ですが、惜一杯演奏に取りこんで見ます。

ご あ い さ つ

委員長 吉田久五郎

今晚は、私達北声会合唱団の第五回演奏会において下さりまして、ありがとうございます。つたない演奏ではありますが、せいぜい歌いますので、団員と共にこの音楽会を盛り立てて下さるようお願いいたします。

最近、西洋の一流の演奏家や演奏団体の来日が相ついでいますが、それらのすぐれた演奏に接して感ずることが二つあります。

一つは、音楽の鑑賞は生の演奏を見て聴かなければ真価はわからないということ。テレビやレコードでは感じられないプラスアルファが大きい。

二つは、その演奏や演奏家を生みださせたものは、その国や都市の人々とその伝統ということ。この意味で、地元の演奏者を育てることが、大切になってくると思います。

幸いに盛岡でも、この頃地元の人達の演奏会が盛んになりました。器楽ではバイオリンやピアノ、声楽では独唱や合唱など、内容も以前にくらべると格段の進歩で、すぐれた演奏を聴かせてくれるようになったのは、うれしいことです。

さて、私達の演奏は？ あとでご批判をおきかせ下さるようお願いいたします。